



越前菅笠

えち

ぜん

すげ

がさ

ガーデンニングや屋外作業に便利、
愛用者の年齢層も幅広い。

福井市清水地区は、江戸時代から農家の副業として菅笠作りが盛んでした。品質の高さは、納品を約束にお金を借りることもできたほどです。骨組みの竹割は男性、菅笠を縫う(笠縫い)のは女性が担当。特に笠縫いは根気の要る地味な作業ですが、それが上質の証です。

菅草は刈り取って天日干し後、笠縫い前に一晩水につけることから水(雨)を通さず、草の葉なので熱も通しません。昔は生活必需品でしたが時代とともに需要は減少。しかし、屋外作業時に便利なことから、現在でも全国に愛用者が多く、受注に応じた生産をしています。



ここがポイント

後継者育成のため実習指導中。

需要減少に伴い技術継承者も激減する中、平成元年に「越前菅笠を守る会」を発足しました。現在、初心者向けの定期育成講座(毎年1~3月の毎週日曜)や地区内小学校高学年への実習指導を行い、後継者育成に努めています。

製造者 / 越前菅笠を守る会
住 所 / 福井県福井市清水杉谷3-125
(代表 田仲久則)
T E L / 0776-98-2031
F A X / 0776-98-2031

平成28年11月25日指定